

## 平成27年度海の道むなかた館催事一覧表

(平成28年2月29日現在)

月	日	イベント名	開催場所	主な主催者	参加実績
3月 (下)	3/24-5/10	海の道むなかた館春期特別展「日本人にかえれ 出光佐三展」※	海の道むなかた館	秘書政策課	27,539
5月 (中)	5/15	海の道むなかた館ミュージアムコンサート	海の道むなかた館 (常設展示室)	郷土文化課 NPO法人コラボ宗像	50
7月 (中)	昨年度から開催 中	滝純一絵画作品展(7/14展示替)	海の道むなかた館	郷土文化課	
7月 (中)	7/17	海の道むなかた館ミュージアムコンサート	海の道むなかた館 (常設展示室)	郷土文化課 NPO法人コラボ宗像	39
7月 (中)	7/18、7/19	いせきんぐ宗像オープニングイベント※ ※海の道むなかた館の移動博物館開催	田熊石畑遺跡歴史公園	郷土文化課	10,000
7月 (下)	7/20-8/30	夏の課外授業「まが玉をつくろう! 楽しい古代体験」	海の道むなかた館	郷土文化課	372
7月 (下)	7/25	宗像ユリックス いきいき出前コンサート 「みゅーじあむコンサート in 海の道むなかた館」	海の道むなかた館	宗像ユリックス	657
7月 (下)	7/25、7/26	夏の課外授業 「トヨタ自動車九州モノづくり教室～衝撃安全バンパーをつくろう～」	海の道むなかた館	郷土文化課 トヨタ自動車九州	142
7月 (下)	7/29-9/27	世界遺産登録推進室企画展 『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群 国内推薦候補決定記念写真展」※	海の道むなかた館	世界遺産登録推進室	28,061
8月 (上)	8/2	夏の課外授業「はにわ貯金箱づくり」	海の道むなかた館	郷土文化課	28
8月 (上)	8/9、8/15	夏の課外授業「ストーンアート～石に古代の絵画などを描こう～」	海の道むなかた館	郷土文化課 福岡教育大学	54
8月 (中)	8/16、8/22	夏の課外授業「藍染め体験～コースターとハンカチを染めよう～」	海の道むなかた館	郷土文化課 宗像高校	29
8月 (下)	8/23	夏の課外授業「ロボット工作(光センサー・プログラミングカー)」	海の道むなかた館	郷土文化課 宗像高校	10
9月 (中)	9/18	海の道むなかた館ミュージアムコンサート	海の道むなかた館 (常設展示室)	郷土文化課 NPO法人コラボ宗像	135
9月 (下)	9/29-11/15	海の道むなかた館秋期特別展「鈴の文化史ームナカタの考古学5ー」※	海の道むなかた館	郷土文化課	26,304
10月 (上)	10/1	みあれ祭陸上神幸	神湊～宗像大社辺津宮	みあれ祭陸上神幸実行委員 会、郷土文化課	台風のため 中止
11月 (上)	10/31、11/1	むなかた模型作品展示会(海の道むなかた館秋季イベント)※	海の道むなかた館	郷土文化課 コミュニティ協働推進課	2,895
11月 (中)	11/14	北斗の水くみを観に行こう!	北斗の水くみ海浜公園	郷土文化課 むなかた電子博物館	雨天のため 中止
11月 (中)	11/20	海の道むなかた館ミュージアムコンサート	海の道むなかた館 (常設展示室)	郷土文化課 NPO法人コラボ宗像	100
12月 (下)	12/22-翌2/14	海の道むなかた館正月企画展「金海大成洞古墳群パネル展」※	海の道むなかた館	郷土文化課	21,641
1月 (上)	1/1-1/3	海の道むなかた館三箇日開館イベント	海の道むなかた館	郷土文化課	3,186
1月 (上)	1/15-1/28	福岡県小学児童画展(宗像区)※	海の道むなかた館 (体験学習室)	宗像区小学校図画工作科 教育研究会	5,575
1月 (中)	1/15	海の道むなかた館ミュージアムコンサート	海の道むなかた館 (常設展示室)	郷土文化課 NPO法人コラボ宗像	35
1月 (中)	1/29-2/11	宗像市・レツジョエミア市(イタリア)交流児童画展※	海の道むなかた館 (体験学習室)	郷土文化課	5,157
2月 (中)	2/13	第4回宗像民話講座発表会	海の道むなかた館	図書課 郷土文化課	37
2月 (中)	2/16-3/31実施 予定	北斗の水くみ写真展※(H28.2.29現在)	海の道むなかた館	むなかた電子博物館 郷土文化課	4,970
3月 (中)	3/18	海の道むなかた館ミュージアムコンサート	海の道むなかた館 (常設展示室)	郷土文化課 NPO法人コラボ宗像	
3月 (下)	3/18、3/19	海の道むなかた館春の特別イベント	海の道むなかた館	郷土文化課	

集計 109,477

※来館者数や当該イベント参加人数のこと

## 平成 27 年度海の道むなかた館秋の特別展アンケート

## ○アンケートの概要

- ・来館者へ無作為にアンケートを実施
- ・協力者 75 名
- ・実施期間は 9 月 29 日（火）から同年 11 月 15 日（日）（特別展期間中）

## ○アンケートの結果

## ・お住まい

宗像市内	福津市	宮若市	遠賀郡	北九州市	福岡市	その他県内	県外
31%	16%	0%	3%	1%	15%	16%	19%

特に県外からは市内に次ぐ割合を占めている。これは団体ツアーによる入館者が多かったためと考えられる。

## ・年齢層

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
22%	0%	4%	1%	9%	27%	26%	9%	1%

10代に関しては、学校へのチラシ配布の効果と考えられる。

## ・来館回数

1回	2回	3回	4回	5回以上	10回以上	無回答
49%	11%	7%	1%	9%	7%	16%

初めての方が多く、中には 5～10 回以上、中には 20 回以上も来館されている方もいる。

## ・情報収集方法

市広報誌	学校からの案内	館 HP	その他	無回答
21%	11%	4%	54%	11%

これは団体ツアーによる入館者が多かったために、「宗像大社に寄ったついで」や「ツアーで」などの回答が多かった。学校からの案内については、10 代の入館者が多いことにも繋がっている。

## ・今後の展示内容

民俗文化	自然史（鉱物・化石）	自然（動植物）	その他	無回答
30%	24%	15%	8%	24%

民俗文化や自然史（鉱物・化石）の展示への関心が高いことが分かった。

## ・その他

- ・展示内容について  
大変面白かった・面白かったのみであった。
- ・今後、どのような体験学習が実施されたら  
むかしの人の衣装着用や石包丁を使った稲刈りのリクエストがあった。

## 平成27年度 海の道むなかた館 館長講座実績

○ 会 場：海の道むなかた館 講義室（体験学習室）

○ 定 員：各回 80名

回数	月日	内 容	受講者
第1回	4月12日(日)	三国時代新羅の都城と山城	72
第2回	5月 3日(日)	真興王の拓境碑と古墳・山城	67
第3回	6月14日(日)	新羅古墳の変遷	79
第4回	7月12日(日)	新羅の寺院と仏像	77
第5回	8月 2日(日)	新羅の鉄と鉄器の生産	54
第6回	9月13日(日)	新羅の国際性	75
第7回	10月11日(日)	三国時代加耶の諸問題	69
第8回	11月 7日(土)	加耶土器の地域性と編年	52
第9回	12月13日(日)	金海の遺跡群	62
第10回	1月10日(日)	咸安の遺跡群	52
第11回	2月14日(日)	高霊の遺跡群	59
第12回	3月13日(日)	「任那日本府」説の考古学的検討	
計			718

## 海の道むなかた館入館者数（速報値）

平成28年2月29日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成24年度	6,826	19,208	7,192	9,581	8,105	6,246	9,653	6,742	3,245	13,427	5,048	7,384	102,657
平成25年度	10,677	9,483	6,854	9,167	3,995	10,552	12,598	10,556	7,624	16,310	9,330	10,464	117,610
平成26年度	13,670	12,644	9,530	11,107	13,176	12,027	13,043	15,631	10,783	17,376	11,939	16,702	157,628
平成27年度	15,685	15,362	11,368	12,356	13,182	14,352	16,144	15,043	9,169	14,063	10,027	11,286	158,037
合計	46,858	56,697	34,944	42,211	38,458	43,177	51,438	47,972	30,821	61,176	36,344	45,836	535,932

※ 平成24年4月28日開館

平成28年1月15日

**『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界文化遺産推薦に係る  
推薦書（正式版）のユネスコへの提出について**

本日の閣議において、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の推薦書（正式版）のユネスコへの提出が了解されましたので、お知らせします。

**【参考】今後の予定**

平成28年2月1日まで	外務省よりユネスコ世界遺産センターへ推薦書（正式版）を提出
平成28年夏～秋	イコモスによる現地調査
平成29年5月頃 夏	イコモスによる評価結果の勧告 第41回世界遺産委員会において審議

**<担当>**

文化庁文化財部記念物課  
世界文化遺産室長 岡本 任弘（内線4784）  
文化財調査官 鈴木 地平（内線4763）  
係 長 坂本 真樹（内線2877）  
電話：03-5253-4111（代表）

# 『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』について

【名称】「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 (Sacred Island of Okinoshima and Associated Sites in the Munakata Region)

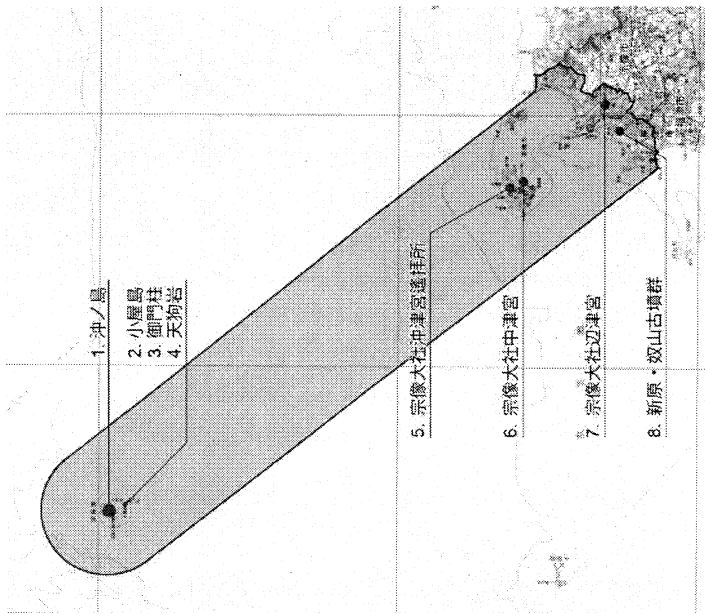
【構成資産】宗像大社沖津宮（沖ノ島、小屋島、小屋島、御門柱、天狗岩）、宗像大社沖津宮遙拝所（沖ノ島、天狗岩、御門柱、小屋島、小屋島、御門柱、天狗岩）、宗像大社中津宮、宗像大社辺津宮（以上、福岡県宗像市）、新原・奴山古墳群（福岡県福津市）

【暫定一覧表記年】平成21(2009)年

## 【概要】

本資産は、「神宿る島」沖ノ島を崇拝する文化的伝統が、古代東アジアにおける活発な対外交流が進んだ時期に発展し、海上の安全を願う生きた伝統と明白に関連し今日まで継承されてきたことを物語る稀有な物証である。

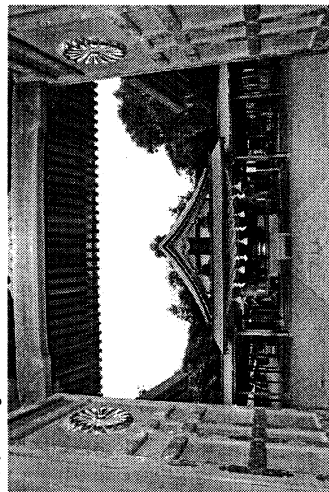
沖ノ島には4世紀から9世紀の間の古代祭祀の変遷を示す考古遺跡が、ほぼ手つかずの状態で見事に残されてきた。沖津宮、中津宮、辺津宮の古代祭祀遺跡を含むこれらの三つの場合は、宗像大社という信仰の場として現在まで続く。18世紀までに成立した沖津宮遙拝所は、上記で述べたような沖ノ島を選択する信仰の場である。そして、その信仰を担い育んだ宗像氏の存在を物語る資産が、新原・奴山古墳群である。



沖ノ島



宗像大社沖津宮遙拝所



宗像大社辺津宮



新原・奴山古墳群

## 平成28年度 海の道むなかた館年間スケジュール（案）

		平成28年												平成29年																																																																																			
		4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月																																																			
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4																																																
海の道むなかた館	施設展示	特別展示	春の特別展								秋の特別展																																																																																						
	企画展示									企画展																																																																																							
	レギュラーイベント	●【館長講座】	●								●								●																																																																														
	主要スポットイベント	●【ミュージア コンサート】								●								●								●																																																																							
	協力・関連イベントなど	● 海の道むなかた館春まつり								● 夏休みイベント (夏の課外授業) トヨタ九州ものづくり教室 ロボット工作他								● むなかた模型作品展示会 ● 海の道むなかた館秋まつり								● 正月イベント ・獅子舞 ・正月体験学習他																																																																							
	第2展示室 滝純一 絵画展																第2展示室 展示展																																																																																
世界遺産	世界遺産関係	● 世界遺産推進会議																● 世界遺産市民の会総会																																																																															
その他連携	学校向け	● 市内小学校 受け入れ(ハイシーズン)																● 市内小学校 受け入れ																● 市内小学校 受け入れ																																																															
	他施設連携	● 春の観光キャンペーン 連携																● 夏の課外授業 連携																● 秋の観光キャンペーン 連携																																																															
PR展開	広報	● ニュースリリース (TV・新聞向け)																●																●																																																															
	広告	● 市・県広報誌																●																●																																																															
	広告	● マスメディア																●																●																																																															
	広告	● 70,000部																●																●																																																															
	広告	● 70,000部																●																●																																																															
地域の行事	宗像大社	● 五月祭 ● 沖津宮現地大祭																● 大祓式・夏越祭 ● 中津宮七夕祭																★ ● 宗像大社秋季大祭 みあれ祭																● 菊花大会 ● 七五三祭																● 古式祭 ★ 初詣 ● 大祓式・除夜祭																● 節分祭															
	鎮国寺	● 花まつり ● 紫灯大護摩供																																																																																															
	その他																																	★ 実業団女子駅伝																● 赤間宿まつり																																															



平成28年1月27日現在

## 平成28年度海の道むなかた館春の特別展（案）

## 1 目的

地域の文化遺産である歴史、民俗、自然等に関する資料を収集、保管、調査研究を行い、成果を展示して教育的活用を図り、市民の教育、学術及び文化の振興に寄与することを目的としています。

市の地域コミュニティでは、地元学や世界遺産活動などの影響を受けて、郷土文化史資料の発掘などの取り組みが行われており、特色あるコミュニティ活動として定着しつつあります。このような地域活動に対する資料調査や保存活用への支援や協働により、郷土の歴史文化遺産を公開し、広く内外へ周知を図ることは、むなかた館の重要な役割です。

## 2 趣旨

現代の地域コミュニティセンターは地域にくらす人々の寄りどころとなっています。原始には神が宿る自然、古代には社、中近世には寺、近代には公民館が拠り所として現れてきました。特に神社は地域コミュニティの核として存在してきた歴史があります。

今回は宗像市稲元の八幡宮を核にし、社を取り巻く歴史、生活、信仰などの郷土文化遺産を掘り起こして、過去から現在、そして未来を見つめるための企画、展示を行います。

展示を通して、市外からの来館者へ宗像市稲元地域の郷土文化遺産を情報発信するとともに、市民が地域のくらしと文化を見つめ直して、郷土文化意識を高め、次世代の宗像づくりを考える機会とします。

## 3 開催要項

- (1) 表 題：(仮) 稲元八幡宮と地域遺産
- (2) 会 期：平成28年4月26日(火)～6月12日(日)
- (3) 場 所：海の道むなかた館（企画展示ブース）
- (4) 入場料：無料
- (5) 主 催：宗像市・宗像市教育委員会



平成 28 年 2 月 29 日現在

## 平成 28 年度海の道むなかた館企画展（案）

## 1 趣旨

宗像市は、『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』を平成 29 年度の世界遺産登録を目指し、活動を続けています。その構成資産である宗像大社は、1231 年の古文書に遠賀郡芦屋町から糟屋郡新宮町までの沿岸に漂着した船舶やその積荷を、宗像神社の修繕料に充てていたとの記録が残っています。

漂着は、海流と季節風が深く関わっており、人を乗せた船はもちろん、他にも様々な物を運び、我々に大きな恵みをもたらしました。海藻や魚類は食糧、遥か南国から流されたヤシの実や容器、大雨で流れ出た流木は建材などに利用され、クジラにいたっては、食料や灯油の他、様々な道具を作る素材として用いられ、一頭の漂着で多くの村が潤ったといわれています。

しかし、現在では、油類の流出、ペットボトル・ビニール袋などの生活ゴミや近年注目されているマイクロプラスチックによる、環境や生物へ深刻な影響が懸念されています。

今回の展示では、ロマンを感じるような寄物から、環境へ悪影響を与えているものまでを展示し、環境を守るための啓発を行います。

## 2 開催要領

- (1) 表 題：(仮) 海流のちから ～よりものあれこれ～
- (2) 会 期：平成 28 年 7 月 19 日 (火) ～9 月 4 日 (日)
- (3) 場 所：海の道むなかた館（企画展示ブース）
- (4) 入場料：無料
- (5) 主 催：宗像市・宗像市教育委員会

平成 28 年 1 月 21 日現在

## 平成 28 年度海の道むなかた館秋の特別展（案）

## 1 趣旨

山岳信仰と修験道の修行の場としては、「熊野参詣道」や「大峯奥駈道」などで構成される世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が著名ですが、ここ九州の地にも、主として平安時代以降、霊山への信仰と修行の世界が広がっていました。

しかし、明治に至ると、神仏判然令による廃仏毀釈の嵐が全国的に吹き荒れ、以後、九州地方における山岳信仰と修験道は著しく衰退しました。けれども、今日でもなお、豊前の英彦山、豊後の国東半島、筑前の宝満山など、各地にその痕跡を留めており、往時ほどではないにせよ信仰と修行とは継承され、あるいは峯入り復活の動きも始まっているといえます。

ここ「むなかた（旧宗像郡域）」は、宝満山の春の峯入りルートの一つとなっており、こうした山岳信仰と修験道の世界とを髣髴とさせるさまざまな資料が発見され、伝世されてもいます。

今回の展示では、半世紀ぶりの里帰りとなる山田経塚出土銅製経筒や、鎮国寺銅製経筒（福岡県指定文化財）をはじめとする出土資料や伝世品に、英彦山経塚出土品（国指定重要文化財）、伝白<sup>はく</sup>山神社経塚出土品（福岡県指定文化財）などの出土資料を加えて構成することにより、平安時代以降、ここ「むなかた」の地で展開された山岳信仰と修験道の世界とを再現します。あわせて、“ふるさと むなかた”の風土と文化に寄せる、市民の幅広い関心に応えようとするものです。

## 2 開催要領

- (1) 表 題：(仮) むなかたの山岳信仰 (仮) -ムナカタの考古学 6-
- (2) 会 期：平成 28 年 9 月 27 日 (火) ~11 月 13 日 (日)
- (3) 場 所：海の道むなかた館（企画展示ブース、特別展示室）
- (4) 入場料：無料
- (5) 主 催：宗像市・宗像市教育委員会